



放牧準備・乳牛飼養管理について

□放牧の準備

今年は萌芽が2～6日遅れていますが、放牧開始が遅れると、放牧草の利用率が低下します。計画的な放牧準備と馴致（慣らし放牧）を行いましょよう。

○放牧場出入口と牛道の整備、水槽の給水配管に破損がないかの確認を行う。

○草丈5～10 cmになったら、屋外の環境や放牧草に慣れさせるため馴致を開始

馴致(馴らし放牧)期間の目安

経産牛 2週間 育成牛 3～4週間

※最初は1時間程度の放牧から開始し、その後、徐々に放牧時間を延長し、馴致する。

□これから暑熱対策に大切な準備期間に入ります！！

気温が上昇してくるこの季節は、サイレージの変敗や牛舎内の温度・湿度の上昇などが懸念されます。暑熱に備え、牛舎内でよどみない送風環境を確保しましょう。

〈点検箇所〉

巻き上げカーテンの作動チェックと補修

防鳥ネットのホコリ取り・牛舎上部の蜘蛛の巣とり

送風ファンの清掃・角度調整

バルク室の排熱・冷却システムの点検

重曹などの設置準備 (水槽掃除は日常作業！！)

〈施設改善の検討も重要〉

入気面の拡張

送風機の増設

屋根の輻射熱対策(塗料、断熱材、散水)

春から始めるハエ対策



夏のサンバエ発生対策は
春から始めましょう
詳しくはHPを参照！

機械の点検・整備を行い、
農作業安全につとめましょう。



HPは「宗谷農業改良普及センター」で検索、
またはQRコードから